

指揮 **広上 淳一**  
(常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)  
Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)

ヴァイオリン **五嶋 龍**  
Violin: Ryu Goto

東京公演

京都市交響楽団



©Tatsuo Sasaki

©E.Miyoshi

©Masaaki Tomitori

広上淳一のタクトが舞う!  
ラフマニノフ「交響的舞曲」  
芳醇な美が香り立つ、  
五嶋龍のホルンゴルト!

2017年の「サントリー音楽賞受賞記念コンサート」以来2年ぶり!  
黄金コンビ京響=広上の熱演を東京でも!!

2019 **6/23** ① 午後5時開演 **サントリーホール**  
(午後4時15分開場)

Sunday, June 23, 2019 / 5:00PM Suntory Hall

東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅、  
または南北線「六本木一丁目」駅下車

*Kyoto Symphony Orchestra Concert in Tokyo*

ブラームス：悲劇的序曲op.81  
ホルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.35  
ラフマニノフ：交響的舞曲op.45

*Brahms : Tragic overture op.81*  
*Korngold : Concerto for violin and orchestra in D major op.35*  
*Rachmaninov : Symphonic dances op.45*

お問い合わせ  
AMATI 03-3560-3010 <http://www.amati-tokyo.com>  
京都市交響楽団 075-711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。  
©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛：ローム株式会社 マネジメント：AMATI

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

S ¥6,500 A ¥5,500  
B ¥4,500 P ¥3,000

◆学生券 ¥3,000  
(公演当日に残席がある場合のみ発売)  
※学生券は開演1時間前から発売  
(学生証要提示/事前予約及び座席指定不可)

2019年  
1/26  
から発売

入  
場  
料

プレイガイド

- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>
- イープラス <http://eplus.jp/> (PC&携帯)
- チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード：135-928)  
<http://t.pia.jp/> (PC&携帯)
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応10:00~20:00/Lコード33980)  
<http://l-tike.com/> (PC&携帯)

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション



# 「第46回サントリー音楽賞」受賞の京響＝広上、円熟の黄金コンビ12年目の集大成を東京で！

～文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラ、京都市交響楽団が  
広上淳一の指揮のもと、五嶋龍を独奏に迎えて挑む、待望の「東京公演」！～

2015年、第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー広上淳一とともに荣誉ある「第46回サントリー音楽賞」を受賞して一躍脚光を浴び、2017年9月の「サントリー音楽賞受賞記念コンサート」から2年を経て、日本で今最も注目されるオーケストラの一つとして更なる成長を遂げている京響が、待望の「東京公演」に挑みます！今回は、極めて劇的なブラームスの「悲劇的序曲」と、ニューヨークを拠点に世界で活躍するヴァイオリニスト五嶋龍をソロに迎えた、厭世的な空気を混えた甘美で華麗なるコルンゴルトのヴァイオリン協奏曲、そしてメインには哀愁と濃厚な抒情にあふれてリズムが舞い躍るラフマニノフ最後の作品「交響的舞曲」という極上のプログラムで、東京の聴衆へ京響＝広上の魅力を熱くアピールします。2008年に広上淳一が常任指揮者就任以来、絶え間なく快進撃を続ける京響＝広上が築き上げた黄金時代12年目の集大成を、皆様どうぞお聴き逃しなく！

## 指揮

### 広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー) Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)



Photo : Greg Sailor

東京生まれ、東京音楽大学指揮科に学んだ広上淳一が「第1回キリル・コンドラシ国際青年指揮者コンクール」に優勝したのは1984年9月、26歳の時であった。その審査員の1人だったアシュケナージは広上を特に高く評価し、翌年ピアニストとしてNHK交響楽団と協演した際には彼を指揮者に指名(広上のN響初協演)したほどである。1986年以降、広上の世界への快進撃が始まり、フランス国立管やベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャーなオーケストラへの客演が展開されていった。1991～95年にはノールショピング交響楽団(スウェーデン)の、1998～2000年にリンブルク交響楽団(オランダ)の各首席指揮者を、1997～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者を歴任、このうちノールショピング響とは1994年に「来日」公演を実現している。この間、1988年に日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会でマラーの《交響曲第6番》を指揮し成功を収め、1991～2000年にはその正指揮者をつとめて、1996年の欧州演奏旅行を指揮したほか、R.シュトラウスの《英雄の生涯》やハイドンの交響曲など、多くの瑞々しく壮大な快演を残した。2006～2008年米国コロンバス交響楽団の音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともにチャイコフスキーの録音も残し、その実力を内外に知らしめた。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッパ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、シンシナティ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放送響、スロヴェニア・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サン・パウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でも1989、1990年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では新国立劇場《椿姫》、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。

## ヴァイオリン

### 五嶋 龍 Violin : Ryu Goto



©Ayako Yamamoto/UMLLC

ヴァイオリニスト五嶋龍は、7歳でパシフィック・ミュージック・フェスティバルにて、パガニーニのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏し楽壇デビュー。幼い頃から多くのメディアで取り上げられ注目を集めてきたが、今日その活動は世界屈指の芸術家たちとの演奏活動にとどまらず、教育活動・国際文化交流・社会貢献活動をグローバルに展開し、また空手家としての顔も持つ。これまでにワシントン・ナショナル交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、モントリオール交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ハンブルク交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン交響楽団、フランス国立リヨン管弦楽団、シドニー交響楽団、上海交響楽団、NHK交響楽団などの著名オーケストラと、指揮者では、ロリン・マゼール、ウラディーミル・アシュケナージ、チョン・ミョンファン、レナード・スラットキン、ケント・ナガノ、ファビオ・ルイジ、タン・ドゥン、エリアフ・インバル、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデンらと、器楽奏者では、ミッシェル・マイスキー、チョン・ミョンファンなどと共演。現在の演奏家の使命である社会福祉として、ニューヨークでは同市教育委員会の協力のもと「五嶋龍“Excellence In Music”(音楽優秀賞)」を通じて公立高校生に奨学金を授与する活動に加え、南米・アフリカ・アジアなどの各国、また日本政府から招聘され、演奏活動とともに、文化交流、相互理解を深め、現地の人々、子供たちに夢を与え続けている。2017年後半には日本各地の学生オーケストラとの共演、リサイクルでproject R“拉致被害者を忘れない。”の啓発、チャリティー・コンサートを企画・出演。一貫してメディアなどを通じ、社会への発信力・求心力を発揮している。メディア露出としては、ドキュメント番組「五嶋龍オデッセイ」(フジテレビ、1996～2005年)、「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列、2015～2017年司会)ほか、JR東日本、ユニクロ、エアウィーヴのCMIに出演。録音はドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、ユニバーサルクラシックスよりリリース。使用楽器は日本音楽財団より貸与された1722年製のストラディヴァリウス「ジュピター」。ハーバード大学(物理学専攻)卒業。公益社団法人日本空手協会参段。日英仏中語が堪能。ニューヨーク生まれ・在住。

公式ウェブサイト<https://www.ryugoto.com/> Twitter: @RealRyuGoto



©伊藤菜々子

ゼン:3つのオーケストラのための「グルッペン」(指揮:広上淳一、高関健、下野竜也)ほかの演奏が高く評価されて「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」を受賞。2015年6月には広上淳一指揮のもと、18年ぶりのヨーロッパ公演をブルゼニ、ケルン、アムステルダム、フィレンツェの4都市で開催して成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月には、2016年12月開催「創立60周年記念特別演奏会」でのシュトゥツハウ